

卒業認定方針

各科において、定められたすべての教育課程の単位および履修の認定者に対し、教員会議で協議し、学校長が議長を務める運営会議の決議を経て、卒業を認定する。また、学校長は、卒業の資格を得た者に対し、卒業証書を授与する。

各科の到達目標は以下のとおり。

<看護師科>

1) 看護の対象である人間を総合的にとらえ理解する能力を養う。

(人間の理解と健康のダイナミクスな相互作用を含む)

- ・生命の尊さを理解できる。
- ・人間をあらゆる健康、発達段階から捉えることができる。
- ・多用な価値観をもち、自己実現を目指す存在であることがわかる。
- ・人間は環境との相互作用により、変化していく存在であることがわかる。

2) 専門職業人としての意識をもち、主体的に学習し自己向上の姿勢を養う。(看護の探究心も含む)

- ・信頼を基本とした人間関係を築くことができる。
- ・理論的、科学的思考に基づいた問題解決能力が身についている。
- ・看護に対する探究心をもっている。
- ・継続して主体的に学ぶ姿勢が身についている。
- ・豊かな人間性を備え、看護の対象に共感する態度が身についている。

いる。

- ・看護に対する魅力を感じ、自己の看護感をもっている。

3) 人々の健康上の問題を解決するための基本的な知識をもち、それを実行できる能力を養う。

(行動能力と実践の基礎能力を含む)

- ・科学的根拠に裏付けられた基礎的技術を身につけ実践できる。
- ・専門職業人としての倫理に基づいて行動することができる。

4) 対象をとりまく社会のニーズを踏まえ、保健・医療・福祉の動向に即した看護が実践できる。

(看護の探究心、調整能力を含む)

- ・社会の動向に関心を持ち、保健・医療・福祉チームの中で看護の役割が理解できる。
- ・他職種と協力しながらあらゆる場面において社会資源を活用した調整を行うことができる。

＜国際情報ビジネス科＞

PC・簿記・マーケティング・経営学・英語等、実社会にて不可欠なビジネススキルを中心に、国際化・情報化が進むアジアを中心とした国際社会において、有意な専門人材を涵養することを目的とする。

1) 基礎科目

・人文科学・社会科学・自然科学系の科目学び、社会人としての持つべき

広い視野の基礎を形成し、氾濫する情報に惑わされない基礎知識を構築できる。

2) 実務理論

・経営系・法律系の基礎を学び、ビジネスの基礎を形成し、比較文化、法律、マーケティング、経営学を通じ、ビジネス実務の本質を理解する。

3) 資格基礎

・商業簿記、貿易実務等、実務で通用する資格取得を目指す。

4) 実習

・文書作成、表計算、プレゼンテーション資料作成のアプリケーションソフトを運用できる。WEBデザインの基礎を学び、簡易なHPを作成できる。

5) コミュニケーション

・ビジネス英語、ビジネス文書、ビジネスコミュニケーションをケーススタディを用いて体感的に習得する。

・ビジネスで不可欠なプレゼンテーションスキルを反復習得する。

6) 国家試験対策セミナー

7) 検定試験対策セミナー

・通関士、通訳ガイド、シスアド、簿記検定を選択受講し、就職に直結するスキルを身につける。